



News Release

(報道発表資料)

2024年2月22日
西日本電信電話株式会社 沖縄支店

内閣府「先端的サービスの開発・構築や先進的サービス実装のためのデータ連携等に関する調査事業（2次募集）」の実証開始および開会セレモニーの実施について

西日本電信電話株式会社沖縄支店（支店長：古江 健太郎、以下、NTT 西日本）は内閣府「先端的サービスの開発・構築や先進的サービス実装のためのデータ連携等に関する調査事業（2次募集）」の採択を受け、リアルタイムに交通情報を活用し、高品質で安全な自動運転サービスの実現に向けた行動実証調査(以下、本実証調査)を実施します。

また、本実証調査の開始にあたり、2024年2月23日(金・祝)に、実証調査の概要説明および自動運転バスの乗車体験イベント等の開会セレモニーを実施します。

1. 取り組みの背景

沖縄県 南城市（以下、南城市）は、人口約4.6万人（2022年12月末時点）に対して、主要観光地入域者数は約37.2万人（令和4年度）と観光業が盛んな地域であり、久高島や世界文化遺産に登録されている斎場御嶽といった国内有数の観光資源を有しています。

一方で、南城市では地域社会の更なる活性化に向けて、「①地域住民向けの持続的な地域交通手段の維持」および「②観光客向けの二次交通手段の拡充」が主要な課題となっています。

こうした2つの課題に対して、リアルタイムに交通情報を取得・活用するシステム(リアルタイム交通マジメントシステム、以下、システム)を導入することで、地域住民および観光客のみなさまが安心して利用できる高品質で安全性の高い自動運転サービスの実現をめざします。

2. 取り組みの概要

本実証調査では、バス本体および走行ルート上にカメラやセンサーを設置することで、走行ルート全体の道路状況をリアルタイムに把握するとともに、予め、運行管理システム上で走行ルートの安全性を評価し、運転以外の行為（セカンダリ・アクティビティ）に従事する遠隔監視者・オペレーターに通知することで、バスの運転方法(システムによる自動運転、

遠隔監視者やオペレーターによる運転)を柔軟に切り替えます。こうした運転方法の切り替えを実施するにあたり、安全性等を十分に担保するために必要なリードタイムを確保できているかを検証します。

具体的には、システムのある環境とない環境それぞれで実証調査をおこない、遠隔監視員、オペレーターおよび利用者にアンケートを実施し、システムの有効性を評価します。

なお、本実証調査では、自動運転による走行実績が多数ある車体を用いますが、歩行者等の安全性を確保するために、運行は手動で行うこととし、システムの安全性評価およびシステムから遠隔監視者・オペレーターへの運転切り替えの通知に十分なリードタイムを確保できているかを検証することに注力します。(実証走行ルート等は以下の通り)

実証走行ルート



走行車両



(1) 実証期間

2024年2月23日(金・祝)～2024年2月29日(木)まで

(2) 実施場所

沖縄県南城市(斎場御嶽入口～知念岬公園周辺)

(3) 役割分担

南城市:実証フィールドの提供

NTT西日本:本実証調査の運営(事業主体)

NTTビジネスソリューションズ:車両の導入支援、技術サポート、
システムの構築・運用

3. 実証開会セレモニー

(1) 日時

2024年2月23日(金・祝) 10時30分～

(2) 式次第

- ・南城市代表者 挨拶
- ・事業主体代表者 挨拶
- ・実証事業の概要説明
- ・モビリティ(自動運転バス)の概要説明
- ・写真撮影
- ・試乗会

4. 今後の展開について

本実証調査を踏まえ、南城市が直面する課題の解決に向けて、自動運転の社会実装に必要な取り組みを推進するとともに、南城市とも連携し、地域住民および観光客のみなさまが安心して利用できる高品質で安全性の高い自動運転サービスの実現をめざします。また、本実証調査の結果および取得データから安全性および事業性を確認した上で、南城市内における走行ルートの拡充を検討します。

※ニュースリリースに記載されている情報は、発表時点のものです。現時点では、発表時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いします。